

## 令和2年9月定例会 採択

請願第3号	新たな鈴木貫太郎記念館の早期開館に関する請願
対応経過 (生涯学習課)	<p>1. 戦後80年に当たる令和7年までに新たな鈴木貫太郎記念館を開館されたい。</p> <p>処理の経過</p> <p>現記念館は、耐震診断により補強が困難であるとの結果により、今のままでは大きな地震に耐えられない可能性が極めて高いと考えていることから、建て替えや民間を含む既存施設の活用など、地元の意向も確認しつつ、あらゆる方向から開館を検討していくこととなります。</p> <p>具体的には、令和7年の開館を目標に整備基本構想の策定や整備候補地の選定、クラウドファンディングによる寄付を活用した建設費用の一部捻出などを行ってまいります。極めて厳しい財政状況の中、単独で建設費用を確保するのは難しいことから、補助金の活用や国への働きかけを行いつつ、令和3年度に地元の方や有識者などによる検討委員会を立ち上げ建設について検討いただきたいと考えております。</p> <p>2. 新築の場合、建設場所として、現記念館に近接する場所を選定されたい。</p> <p>処理の経過</p> <p>記念館は、鈴木貫太郎翁が晩年を過ごした関宿にあることに意義があると考えておりますので、建設場所につきましては、地元の意向も確認しつつ、関宿の中で候補地を選定してまいります。</p> <p>3. 移転後の現記念館は、文化的建築物として保存し、翁居住地跡と一体化した公園として整備されたい。</p> <p>処理の経過</p> <p>前述のとおり、現記念館は大きな地震に耐えられない可能性が極めて高いと考えておりますが、一方で、昭和</p>

	<p>30年代の建築物の指標として文化財的な価値を有するという評価もいただいておりますので、現在、コンクリート建築の専門家と建物の保存方法や費用等について調査研究を行っているところでございます。</p>
--	---